

イラクの査察、世界各地で起こるテロ、北朝鮮拉致事件問題など世の中不穏な昨今ですが、いかがお過ごしでしょうか。また、一年を振り返り、ご挨拶をする時が来ました。

2002年はグランドケイマン島というキューバの南にある島への旅行に始まりましたが、帰ってきてすぐ、一味は右足首の手術をしました。(年甲斐もなくバスケットを続けているので、足首がついていけなくなったのです。) そんな時に高校時代のバスケットボールのコーチだった赤塚氏がなくなるという突然の訃報が飛び込みました。赤塚さんには30年来お世話になり、ほんの2週間ほど前に東京で訪ねたばかりだったので、つらかったです。連絡が入ったのが手術の直後で東京に戻ることもできず、歯がゆい思いをしました。

5月には二人で日本に戻り、由紀子の母が上京してくれ、一味の父と四人で富士山を見に河口湖に2泊3日の旅行に行きました。一年前に由紀子のお母さんに湯布院に連れていってもらった時にした「来年は富士山」という約束がかないました。なかなか全景が見えず始めははらはらしましたが、最後の日の早朝に見えた富士の姿はとてもきれいでした。日本にいる間ちょうどワールドカップで日本中が湧いていて、電車に乗っていても同じTシャツを着ているだけで、連帯感が起こるという不思議な一時を味わいました。

7月には二人とも仕事でサンディエゴ、シアトルに行き、その後一味はポートランドに寄りハワイに、由紀子はハワイ大のワークショップに参加するため直接ホノルルに向かいました。ポートランドでは24年前に一味が初めてアメリカに来たときにお世話になったホストファミリーのニールセンさん達に久しぶりに会いました。(ニールセン家とは母方のいとこの智子がオレゴン大で私のルームメイトだったエアリング・ニールセンと結婚したので、親戚関係になっています。彼らの娘さんのモニカに「君と私は血縁関係なんだよ」と言ったらいやな顔をしていました。) また、シアトルではイリノイ大の先輩の筒井夫妻にすっかりお世話になり、イチローのゲームも一緒に見に行くことが出来ました。(残念ながら由紀子はすでにハワイに行っていました。) 一味はハワイでレスキューダイバーという資格を取りました。これはダイビングの時事故にあった人を助けられるようになるための訓練ですが、本当はレスキューダイバーがレスキューさせるととても格好悪いので馬鹿なことをしなくなるための資格だと思っています。(ホノルルSSAの大西さん、英輝さん、トレーニングありがとう。)

仕事面では、一味は『日本語教師のためのITリテラシー入門』というタイトルの本をくろしお出版から6月に出版しました。また、今学期と来学期はパデュー学内の研究助成でCGアニメーションの外国語教育への利用というテーマでCGの勉強をさせてもらえることになり、今は学部生と一緒に授業に通っています。一味は手術の後6週間ギブスをしていたため、運動が出来ず、一時太っていましたが、その後バスケットボールにも復帰し、やっとおじさん体型を克服しました。(一味：完璧です。)

由紀子はサンディエゴとシアトルの後、ハワイ大学で二週間のワークショップに出席しました。ワークショップは、想像以上に忙しく遊ぶ暇はあまりありませんでしたが、普段の仕事では交流を持ってない米国各地の中学、高校、短大、大学の先生と知り合え、友達もできたことが一番の収穫でした。(一味：元々遊び半分のつもりだったのが、かなりまじだったということです。) 8月には学期が始まり、相変わらず旅行の多い毎日で、今学期はバルチモア、ニューヨーク、トロント、東京、ソルトレイクシティなどに行きました。ただ、今年は仕事ばかりというわけではなく、例えば、東京では卒業以来始めて、大学時代のゼミ、倉沢三田会の同窓会に出席しました。その時、座っていた席が一番年長グループの席で、いつの間にかこんなに年月が過ぎたのかと思う反面、同期の倉田君や藤田君は余り変わっていなかったのが、元気づけられました。このゼミは商法のゼミだったこともあり、多くの先輩後輩の方々金融関係、証券関係に就職していて、職場の状況がかなり厳しい方々もいらっしゃり、日本の不況の厳しさをあらためて感じました。

由紀子は去年から今年にかけて、体調を崩したこともあり、体力作りのため春頃から運動を再開、最近は腕の筋肉も盛り上がってきて、そのうち恐ろしい体型になるかもしれません。(今のところ大丈夫、普通に見えます。一味：いいえ、かなり盛り上がっています。) 仕事面では春に学会発表が3つ、秋には恩師の牧野先生に捧げる『第二言語習得研究への招待』という本の編集(来年3月出版予定)、論文二本、そして一本執筆中など、来年からは教科書『なかま』の第二版の仕事が始まります。(一味：私も論文書いています。念のため。でも、CGで目玉を作って、瞬きさせて、ぐるぐる動かすのも楽しいけど。)

チビタンは13歳になりましたが、元気です。でも、暗いところは相変わらず見えにくいようです。(ちびたん：夜のトイレの時の階段が暗かったので、おそろもありましたが、このごろは電気がついているので大丈夫。) ミータローは相変わらず「俺は幸せだ。」と楽しんでいます。

今年はアメリカも日本も冬の訪れが少し早いようです。お体に気をつけて、楽しいクリスマスとよいお年をお迎えてください。

一味 & 由紀子

***** 頌春 2003年 *****